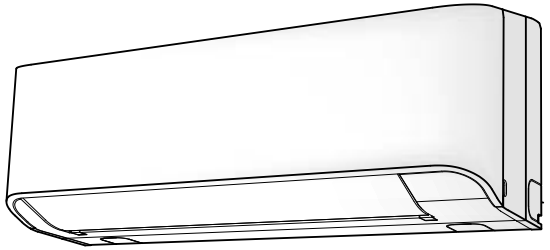
TOSHIBA

東芝パッケージエアコン
取扱説明書



1125450201

R32／R410A冷媒機種

壁掛形

形　名
室内ユニット

組合わせ室外機はカタログをご覧ください。

AIK-RP403H　AIK-RP633H
AIK-RP453H　AIK-RP713H
AIK-RP503H　AIK-RP803H
AIK-RP563H

形　名（別売品）
リモコン

ワイヤード
RBC-AMS53(省エネneoリモコン)
詳細設定はリモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレス
RBC-ATX41（ワイヤレスリモコン）
ワイヤレスリモコン RBC-ATX41 組合わせのときは、リモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。

●このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と室外機に付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
●据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

もくじ

安全上のご注意…… 2
リモコン各部のなまえとはたらき…… 4
各部のなまえ…… 5
正しい使いかた…… 5
タイマー運転…… 6
風向調節…… 8
セーブ運転…… 9
節約運転…… 9
乾燥運転…… 10
ワイヤレスリモコンが使えないとき…… 10
グループ接続が行われている場合…… 10
お手入れ…… 10
このようなときには…… 12
知っておいていただきたいこと…… 13
据付について…… 13
点検整備について…… 14
故障診断…… 14
仕様…… 15
保証とアフターサービス…… 16

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

＊1: 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図　記　号　の　意　味
⃠	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
●	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
△	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

据付は、お買い上げの販売店または据付専門業者に依頼する
据付には専門の知識と技術が必要です。
お客様ご自身で据付を行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
強　制

自分で分解・改造・修理・移設をしない
火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
修理・移設は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。
分解禁止

冷媒充填・回収作業については、第一種フロン類充填回収業者に依頼する
冷媒充填・回収作業は専門の知識と技術が必要です。ご自身で作業を行うと冷媒ガスが漏れる原因になります。
強　制

フロン類をみだりに大気中に放出しない
フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。
禁　止

別売品は、必ず弊社指定の製品を使用する
指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取付は専門の業者に依頼してください。
指定製品を使用する

小部屋に据え付ける場合は適用床面積を守り、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う
適用床面積・限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。
万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故や着火の原因になります。
限界濃度を超えない対策をする

可燃性ガスが漏れるようなおそれのある場所へ設置しない
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。
据付場所の確認

アース工事が正しくされているか確認する
アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。
確認方法については、据付を行った販売店、または据付専門業者へ問い合わせください。
強　制

長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やし過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。
禁　止

異常時（焦げ臭い・冷えない・暖まらない・内部に水や異物が入ったなど）は、運転を停止して、電源ブレーカーを切る
そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
修理をお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。
強　制

空気の吹出口や吸込口などから物（金属・紙・水など）を差し込んだり、中に入れたりしない
内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になります。
禁　止

⚠ 警告

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する
エアコンに使用している冷媒は安全です。
冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れた箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
強　制

配管工事が正しく行われているか確認する
既設配管を使用する場合は、正しく施工しないとエアコンが故障したり、冷媒ガスが漏れたりすることがあります。
正しく施工されていることを据付業者に確認してください。
据付に関することは据付説明書をご覧ください。
R32 もしくは R410A 用のツール・配管部材を使用してください。
専用の配管部材を使用していなかったり、据付に不備があると、破裂・けがの原因になります。
確認する

修理は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ依頼する
修理に不備があると火災、感電の原因になります。
依頼する

漏電遮断器（過電流保護機能付き）が正しく取り付けられているか確認する
漏電遮断器が正しく取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
確認方法については、据付を行った販売店、または据付専門業者へお問い合わせください。
強　制

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しない
品質低下やエアコンの故障の原因になることがあります。
禁 止

エアコンの風が直接当たる場所には動植物を置かない
動植物に悪影響を与える原因になることがあります。
禁 止

燃焼器具と一緒に運転するときや、密閉した部屋で使用するときは換気をする
換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。
強 制

ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する
配管工事に不備があると水漏れを起こし、家財などをぬらす原因になります。
ドレン排水を確認する

エアコンの風が直接当たる場所で燃焼器具を使わない
燃焼器具の不完全燃焼により、窒息の原因になることがあります。
禁 止

ユニットの上に花びんなどの液体の入った容器を置かない
ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。
禁 止

エアコン本体を水洗いしない
感電の原因になることがあります。
禁 止

掃除をするときは、必ず運転を停止して電源ブレーカーを切る
内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になることがあります。
強 制

室外機の上に乗ったり、物を載せない
落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。
禁 止

ぬれた手でボタンを操作しない
感電の原因になることがあります。
禁 止

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない
発火の原因になります。
禁 止

電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路にする
故障・火災の原因になることがあります。
エアコン専用回路なっているか確認する

1年に1度は、室外機の据付台などが傷んでいないか点検する
傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によりけがの原因になることがあります。
強 制

正しい容量の電源ブレーカー以外は使用しない
電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。
正しい電源ブレーカーを使用する

エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らない
転倒などけがの原因になることがあります。
禁 止

エアフィルターを水洗いしたあとは、水気をふき取って陰干しする
水気が残っていると感電の原因になることがあります。
強 制

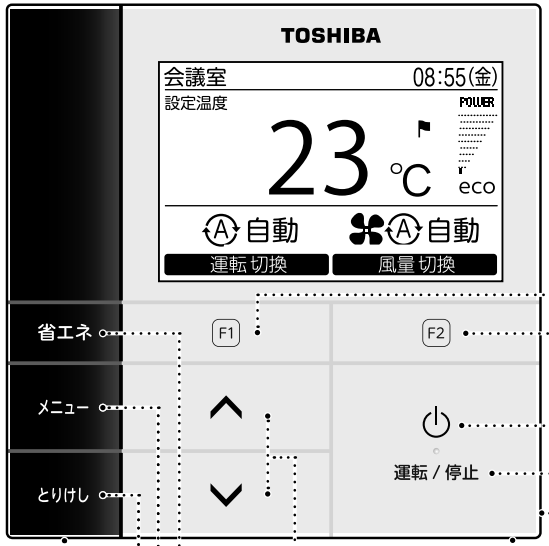
エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに依頼する
誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗不良などが発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ・感電あるいは発煙・発火につながるおそれがあります。
指 示

蒸気が多く発生するような場所、蒸気を発生させる機器近傍に室内ユニットを設置しない
ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。
禁 止

リモコン各部のなまえとはたらき

操作部

●このリモコン1台で、室内ユニットを最大8台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、そのあとは『運転／停止』ボタンを押すだけでご使用になれます。



『F1』 ボタン
操作する画面によって、動作が異なります。

『F2』 ボタン
操作する画面によって、動作が異なります。

運転ランプ
運転中はLEDが点灯します。

『運転／停止』 ボタン

温度センサー

『へ』『∨』 ボタン
通常時：設定温度の上げ・下げをします。
メニュー時：メニュー項目選択をします。

『省エネ』 ボタン
省エネ設定画面を呼び出します。

『メニュー』 ボタン
メニュー画面を呼び出します。

『とりけし』 ボタン
メニューの取消しなど、使いかたは画面内で指示されます。

形名ラベル

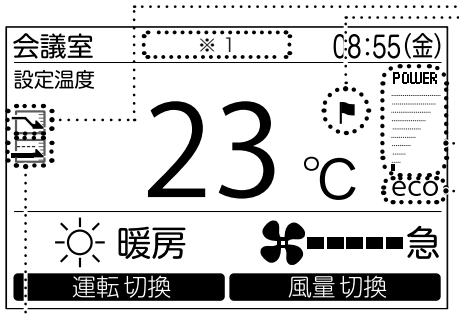
表示部

表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。
●電源ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に 設定中 が点滅します。
この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えたあとリモコンの操作を行ってください。

簡易画面・詳細画面の切換

『とりけし』を押しながら『省エネ』を同時に４秒以上押し続けると画面を切り換えることができます。
工場出荷時は簡易画面に設定されています。

簡易表示画面（出荷時設定）



セーブアイコン
エアコンがセーブ運転を行っているときに表示されます。

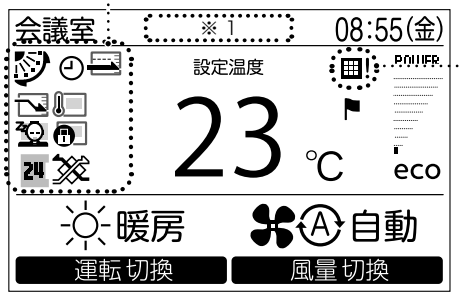
設定温度到達フラッグ
設定温度に到達し、室温維持中に表示されます。

運転パワーレベル
運転しているエアコンの能力状況が10段階で表示されます。室温と設定温度が離れている場合でも、エアコンの保護動作などにより、点灯数が少ない状態で表示される場合があります。

ecoマーク
エアコンが省エネ運転を行っているときに表示されます。

節約運転アイコン
エアコンが節約運転を行っているときに表示されます。

詳細表示画面



詳細表示画面はアイコンを表示します。

※１「暖房準備中」表示のときは
暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。
「運転準備中」表示のときは
機種によって表示する場合があります。

◆アイコン一覧

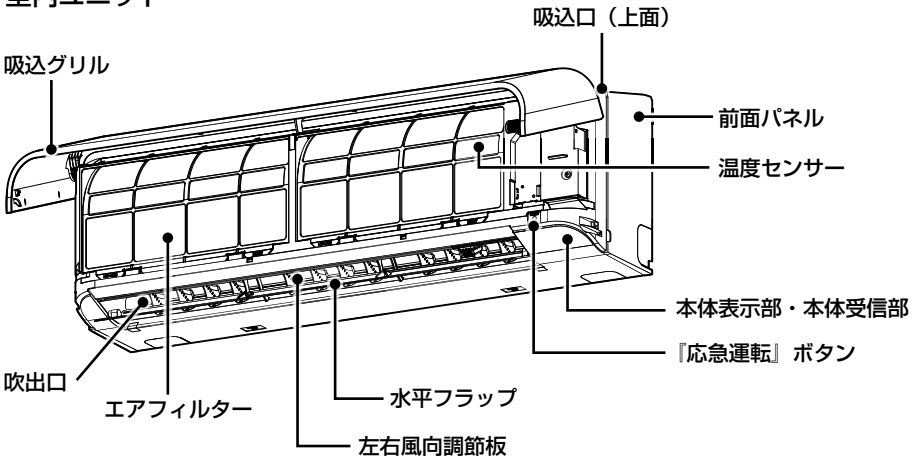
	セーブ運転が有効のときに表示されます。		タイマーが有効のときに表示されます。
	リモコンセンサーを設定したときに表示されます。		フラップの設定状況が表示されます。
	室外静音が有効のときに表示されます。		フィルターのお手入れ時期になると表示されます。
	集中管理操作ロック中に表示されます。		節約運転が有効のときに表示されます。

◆換気アイコン一覧
● 換気ユニット接続時のみ表示されます。
● 換気アイコンの詳細については全熱交換ユニットの取扱説明書をご覧ください。

	自動換気		全熱換気		ナイトパージ
	普通換気	24H	24 時間換気		

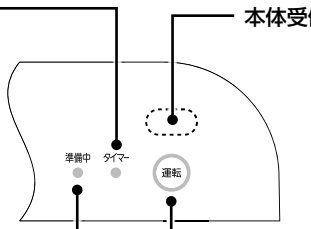
各部のなまえ

室内ユニット



本体表示部

運転のようすを表示します。



『タイマー』ランプ（白）

タイマー予約中は点灯します。

お知らせ

●ワイヤードリモコンでタイマー予約した場合は『タイマー』ランプは点灯しません。1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転しているときはワイヤレスリモコン信号を受信した室内ユニットだけ『タイマー』ランプが点灯します。

本体受信部

『運転』ランプ（白）

運転中は点灯します。

『準備中』ランプ（白）

次のようなときに点灯します。

・電源ブレーカーをONにしてから約1分間（点灯中はリモコン信号を受け付けません。）
・暖房運転開始時
・暖房運転中、温度調節器がはたらいたとき
・除霜中
・乾燥運転中

お知らせ

●据付後はじめて電源ブレーカーをONしたときは、マイコンの初期設定のため約5分ほど『準備中』ランプが点灯します。

●異常発生中は表示ランプのいずれかが点滅します。表示ランプが点滅したときは12ページをご覧ください。

正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から『運転／停止』ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

電源ブレーカーを入れる

● 電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受け付けませんが、故障ではありません。

お願い

● 使用期間中は電源ブレーカーを切らないでください。
● 長期間停止後、運転開始をするときは、**12 時間以上前に**電源ブレーカーを入れてください。

運転のしかた

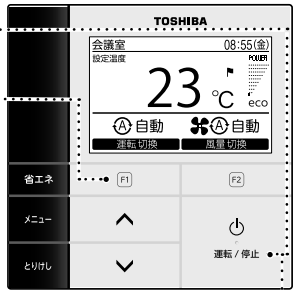
1 『運転/停止』を押して運転する

2 運転切換『F1』を押して「運転モード」を選ぶ

●運転切換『F1』ボタンを押すたびに運転モード表示が変わります。

自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風

3 『運転/停止』を押して運転を止める



風量を変えるとき

風量切換『F2』を押して選ぶ

●風量切換『F2』ボタンを押すたびに風量表示が変わります。

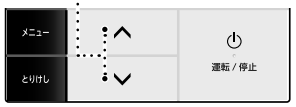
自動 → 急 → 強+ → 強 → 弱+ → 弱

●送風運転時は 自動 は選べません。

温度を変えるとき

『∧』『∨』を押して選ぶ

●『∧』を押すと温度が上がり、『∨』を押すと温度が下がります。
・設定できる温度範囲は、省エネneoリモコンの取扱説明書の設定温度範囲制限をご覧ください。
・クール(ウォーム)ビズ設定時は温度範囲が制限されます。
・送風運転時は温度の設定ができません。



おすすめの設定温度

暖房	22～24℃
ドライ	室温より2～3℃低め
冷房	26～28℃

お知らせ

冷房のとき

● 約1分後に運転を開始します。

冷暖自動のとき

● 設定温度と室温の差によって暖房・冷房運転を自動的に切り換えます。

暖房のとき

● 暖房運転の場合は停止後30秒ほど送風運転を続ける場合があります。
● 暖房運転開始時、室内送風機は停止したままで3～5分間予熱運転したあと、温風を吹き出します。（リモコン表示部の「暖房準備」表示が点灯します。）
● お部屋の温度が設定温度に達して室外機が停止しているときは、微風となり風量が極端に小さくなります。

正しい使いかた（つづき）

運転停止時のフラップ動作について

- 運転を止めた直後に水平フラップは一定時間閉じたままとなります。
  運転を再開する場合は、15秒程度時間をあけて『運転／停止』ボタンを押してください。

室内外ユニット複数台運転について

- 複数台運転には2つの種類があります。
  同 時 運 転：1台の室外機に複数台の室内ユニットを取り付ける運転です。
  グループ運転：数台の室外・室内ユニットを1つのリモコンで同時に動作させる運転です。
- 複数台運転時、室内ユニットは親ユニットと子ユニットがあります。
  親ユニット：他のユニット動作を制御する室内ユニットです。
  （ワイヤレスリモコン使用時にリモコンの『運転／停止』の信号を受信するユニットです。）
  子ユニット：親ユニット以外の室内ユニットです。
- 室内外ユニットの複数台運転時には下記の動作制限が発生します。
  1.子ユニットの『応急運転』ボタンは動作しません。
  ワイヤレスリモコンの電池切れなどで使用ができないときは、親ユニットの『応急運転』ボタンを押してください。
  2.ワイヤレスリモコン使用時、子ユニットは風向・スイング以外のリモコン信号を受信しません。
  『風向／スイング』ボタンで風向動作が変わるのはリモコン信号を受信した室内ユニットだけです。
  但し、ワイヤードリモコンが接続されていないシステムで『風向／スイング』ボタンで子ユニット側に送信した場合“ピピピッ”と鳴り、変更を受け付けません。
  3.ワイヤードリモコン・ワイヤレスリモコンとも集中制御などで手元禁止の設定がされている場合、リモコンの『運転／停止』・運転切換・温度設定ボタンを操作したとき“ピピピピピッ”と鳴り、変更を受け付けません。

タイマー運転

3 つのタイマーの種類が選べます。（168 時間の設定ができます。）

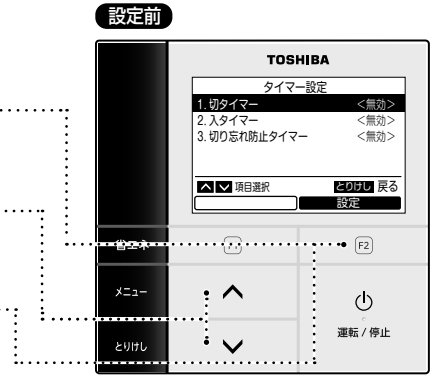
切タイマー	入タイマー	切り忘れ防止タイマー
設定時間になると運転を停止します。	設定時間になると運転を開始します。	毎回、設定時間後運転を停止します。

タイマー運転のしかた

1 メニュー画面で「4. タイマー設定」を選んで **設定** 『F2』を押す
- 設定されている場合は＜有効＞、設定されていない場合は＜無効＞と表示されます。

2 『へ』『∨』を押して設定したいタイマーを選ぶ

3 **設定** 『F2』を押す



1. 切タイマー エアコンを停止させたい時間をタイマーで設定できます。

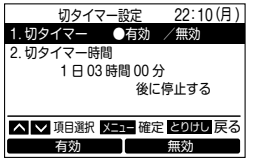
1 切タイマー設定画面で『へ』『∨』を押して **1. 切タイマー** を選ぶ

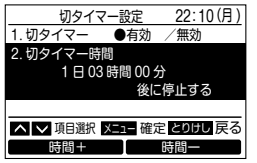
2 **有効** 『F1』を押す
- **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。

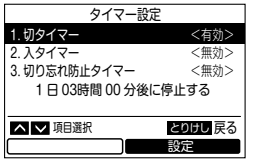
3 『へ』『∨』を押して **2. 切タイマー時間** を選ぶ

4 **時間＋** 『F1』 **時間－** 『F2』を押して時間を設定する
- 24 時間までは 30 分ごと、24 時間以後は 1 時間ごとの設定ができます。

5 『メニュー』を押す
- タイマー設定画面に戻ります。

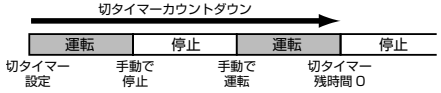






■切タイマー動作について

- 切タイマーで設定した時間後にエアコンが停止します。その間にエアコンの停止・運転が行われても切タイマーカウントダウンは継続されます。



タイマー運転（つづき）

2.入タイマー エアコンを運転させたい時間をタイマーで設定できます。

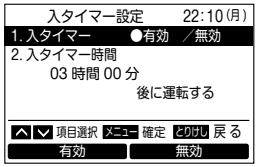
1 入タイマー設定画面で『へ』『∨』を押して **1. 入タイマー** を選ぶ

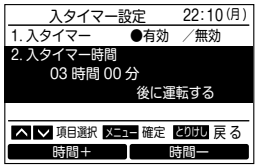
2 **有効** 『F1』を押す
- **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。

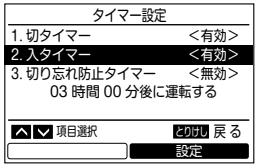
3 『へ』『∨』を押して **2. 入タイマー時間** を選ぶ

4 **時間＋** 『F1』 **時間ー** 『F2』を押して時間を設定する
- 24 時間までは 30 分ごと、24 時間以後は 1 時間ごとの設定ができます。

5 『メニュー』を押す
- タイマー設定画面に戻ります。

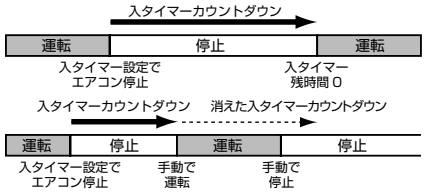






■入タイマー動作について

- 入タイマーで設定した時間にエアコンが運転を開始します。入タイマーを設定したときにエアコンは停止します。入タイマーカウントダウン中にエアコンを運転したときは入タイマーは無効になります。



■切／入タイマー動作について

- 切／入タイマーは1回のみ有効です。
- 次の場合は切／入タイマーは動作しません。
  切／入タイマー無効中・機能設定中・集中管理中（運転 / 停止が禁止の場合）
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- 切／入タイマーの設定範囲は、最小 30 分から最大 168 時間（7 日）までです。
- 『とりけし』を押すと、変更は行われず、変更前の状態でタイマー設定画面に戻ります。
- 停電時は、切／入タイマー設定は解除されます。（無効になります。）
- 切／入タイマーが有効のとき、詳細表示画面に「🕘」が表示されます。

3.切り忘れ防止タイマー エアコン運転開始から停止するまでの時間をタイマーで設定します。

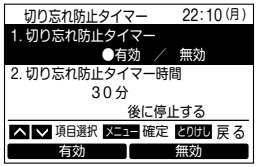
1 切り忘れ防止タイマー画面で『へ』『∨』を押して **1. 切り忘れ防止タイマー** を選ぶ

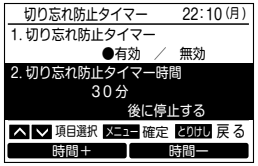
2 **有効** 『F1』を押す
- **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。

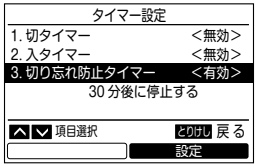
3 『へ』『∨』を押して **2. 切り忘れ防止タイマー時間** を選ぶ

4 **時間＋** 『F1』 **時間ー** 『F2』を押して時間を設定する
- 10 分ごとに設定ができます。

5 『メニュー』を押す
- タイマー設定画面に戻ります。

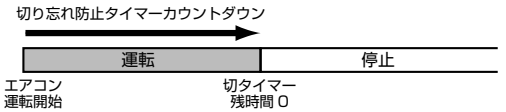






■切り忘れ防止タイマー動作について

- エアコン運転を開始したあと、設定した時間後にエアコンが停止します。



- 次の場合は切り忘れ防止タイマーは動作しません。
  切り忘れ防止タイマー無効中・異常中・試運転中・機能設定中・タイマー設定中・集中管理中（運転 / 停止が禁止の場合）
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- 切り忘れ防止タイマーの設定範囲は、最小 30 分から最大 240 分までです。
- 『とりけし』を押すと、変更は行われず、変更前の状態でタイマー設定画面に戻ります。
- 切り忘れ防止タイマーが有効のとき、詳細表示画面に「🕘」が表示されます。

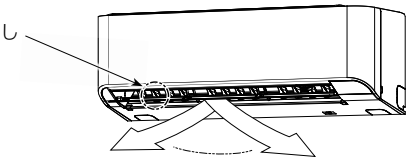
風向調節

冷暖房効果を高めるために、水平フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。
空気の特性として冷たい空気は下に溜まり、暖かい空気は上に溜まります。

左右風向調節

● 室内ユニットの吹出口にある左右風向調節板を
手で動かして調節する

風向調節板を手で左右に動かし
風向きを調節してください。



●左・右、別々に調節できます。

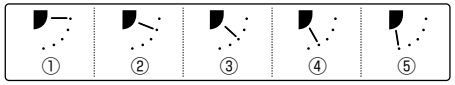
⚠注意 **冷房運転時はフラップを水平吹き出しの状態にする**
下吹き出しの状態で冷房運転すると、吹出口やフラップの表面に露が付き、滴下する原因になります。

お知らせ
●水平吹き出しの状態で暖房運転すると、お部屋の温度ムラが大きくなることがあります。

風向きを設定するときは

1 メニュー画面で「1. 風向設定」を選んで
設定 『F2』を押す

2 『へ』『∨』を押して風向きを選ぶ



実運転モード	設定可能角度
暖房・送風・冷暖自動暖房	①⇔②⇔③⇔④⇔⑤
冷房・ドライ・冷暖自動冷房	①⇔②⇔③

3 『とりけし』を押す
● メニュー画面に戻ります。

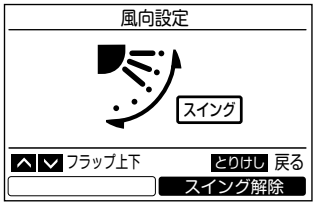
スイングの設定・解除

スイング設定

1 風向設定画面で **スイング** 『F2』を押す
● スイング運転中、風向設定画面が表示されているときに『へ』『∨』を押すと、スイングが停止しフラップが風向①の位置になります。

2 『とりけし』を押す
● メニュー画面に戻ります。

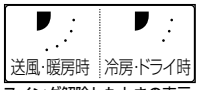
（スイング運転中の表示）



スイング解除

1 風向設定画面で **スイング解除** 『F2』を押す
● スイング運転中、フラップがお好みの位置になったときに **スイング解除** 『F2』を押すと、スイングが停止します。

● 冷房・ドライ時には水平フラップは下向きでは止まりません。スイング運転中に水平フラップを下向きの状態で止めても、風向③の位置まで動いてから止まります。

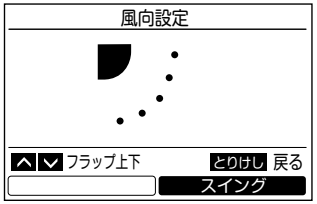


スイング解除したときの表示

● スイングを解除したときの表示中に『へ』『∨』を押すと、フラップは①の位置になります。

2 『とりけし』を押す
● メニュー画面に戻ります。

（解除後の表示）



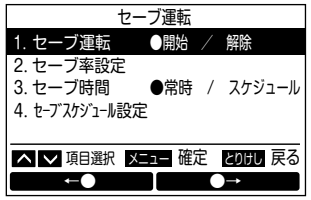
■風向について
- グループ接続が行われている場合は、10 ページの「グループ接続が行われている場合」をご覧ください。

セーブ運転

省エネを目的とした設定ができます。

1 セーブ運転画面で『∧』『∨』を押して
1. セーブ運転 を選ぶ

2 セーブ運転を開始する場合は
2. セーブ率設定 **3. セーブ時間**
4. セーブスケジュール設定 を設定後、
←● 『F1』で **開始** を
選んで『メニュー』を押す
セーブ運転を停止させる場合は
●→ 『F2』で **解除** を
選んで『メニュー』を押す

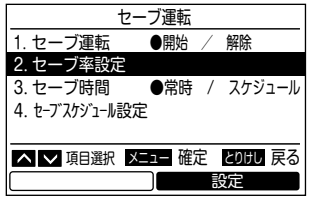


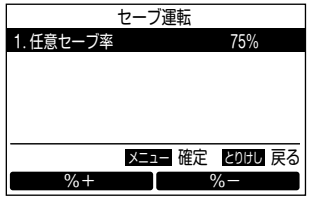
セーブ率設定

1 セーブ運転画面で『∧』『∨』を押して
2. セーブ率設定 を選んで
設定 『F2』を押す

2 **%+** 『F1』 **%−** 『F2』で
数値を設定する
- 任意セーブ率は、50 ～ 100%の範囲で、1%刻みで設定できます。数値が低いほど省エネ効果が高い運転を行います。

3 『メニュー』を押す
- 設定中の画面表示後にセーブ運転画面に戻ります。





お知らせ

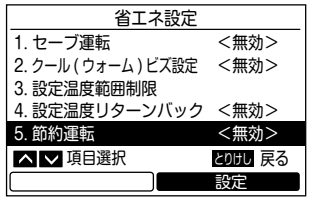
- セーブ運転ではエアコンの能力を抑えた運転になりますので、よく冷えない（暖まらない）ことがあります。
- セーブ運転が行われているときには、表示画面に「」が表示されます。
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- セーブ運転設定の前に時計の設定を行ってください。
- 集中管理リモコンの設定によっては、リモコンで設定できない場合もあります。
- 時計が点滅状態（未設定）時は、セーブスケジュール運転を行いません。

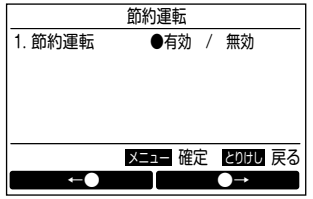
節約運転

1 省エネ設定画面で『∧』『∨』を押して
5. 節約運転 を選んで
設定 『F2』を押す

2 節約運転をする場合は **←●** 『F1』を
押して有効を選ぶ

3 『メニュー』を押す
- 省エネ設定画面に戻ります。



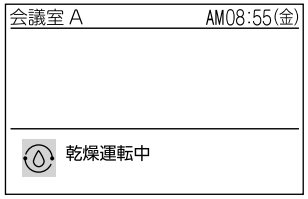


- 過去20分間の平均化された室温・風量・外気温度などのデータから室内の快適性を判定し、快適性が大きく変動しない範囲内で設定温度を自動補正して節約運転をします。
- 自動補正の温度範囲は「冷房時：＋ 1.5℃ ～ − 1.0℃」「暖房時：− 1.5℃ ～ ＋ 1.0℃」です。
  リモコンの設定温度表示は変わりません。
- 節約運転をしているときには、リモコン表示画面に「」が表示されます。
- 冷暖自動運転および冷房・暖房運転のときに節約運転をします。
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。

乾燥運転

冷暖自動（冷房時）・ドライ・冷房運転を停止したときに、送風運転によりエアコンの内部を乾燥させ、きれいな状態に保つための機能です。

- 冷暖自動(冷房時)・ドライ・冷房運転時間により乾燥運転の時間が変わります。
- 乾燥運転中は下の画面表示になります。



冷暖自動(冷房時)・ドライ・冷房運転時間	乾燥運転時間
10分未満	乾燥運転は行いません
10分以上1時間未満	1時間
1時間以上	2時間

乾燥運転を強制的に停止するときは、『運転 / 停止』ボタンを押して３秒以上運転したあと、もう一度『運転 / 停止』ボタンを押す

お知らせ

- 運転を停止するために『運転／停止』ボタンを押してもファンが回り続けることがありますが、これは乾燥運転を行っているためで故障ではありません。また、乾燥運転中はフラップが少し開いた状態になります。乾燥運転が終了するとフラップは閉じます。
- 乾燥運転中は『運転ランプ』は消灯し、『準備中』ランプが点灯します。
- 乾燥運転は、お部屋をきれいにしたり、すでに発生しているエアコン内部のカビやホコリを取ることはできません。
- 乾燥運転を解除したい場合は、販売店または据付業者にご相談ください。

ワイヤレスリモコンを使用されている場合での

ワイヤレスリモコンが使えないとき(応急運転)

ワイヤレスリモコンは別売です。室内ユニットに同梱されていません。
ワイヤレスリモコンが見つからないときやワイヤレスリモコンの電池が切れたときは、
室内ユニットで応急運転ができます。

●運転するとき

吸込グリルを開け、『応急運転』ボタンを約1秒（2秒以下）押して離すと、
ワイヤレスリモコンで最後に運転した設定で運転します。

●停止するとき

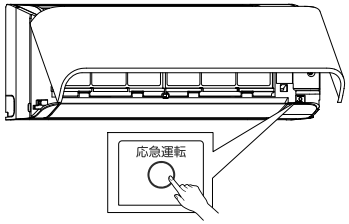
『応急運転』ボタンをもう一度（約1秒）押します。

お知らせ

●電源投入直後の応急運転は自動設定されます。
（24℃自動、風量「急」）

お願い

●『応急運転』ボタンを3秒以上押し続けないでください。
（押し続けるとサービス時やエアコン移設時に使う、強制冷房運転などになります。）



『応急運転』ボタン

グループ接続が行われている場合

**グループ接続の場合は「風向設定」を各ユニットごとに設定できます。
以下の手順で各ユニットの設定を行ってください。**

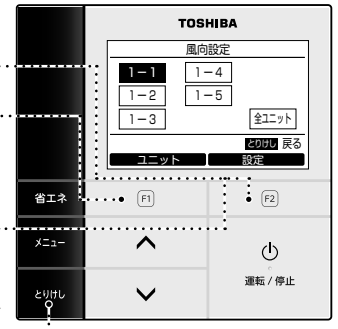
1 メニュー画面でグループ接続がある項目で
設定『F2』を押す

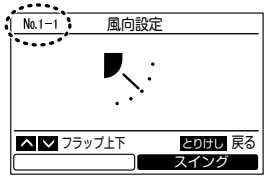
2 **ユニット**『F1』を押してユニットを選択する
- **ユニット**『F1』を押すたびに切り換わります。

1-1 → 1-2 → …… → 全ユニット

3 **設定**『F2』を押す
- **設定**『F2』を押すと、各ユニットの設定画面が表示されます。

4 『とりけし』を押す
- 『とりけし』を押すと前の画面に戻ります。
  - 左上に選択したユニットNo（アドレス）が表示されます。
    「全ユニット」を選択している場合は、表示されません。
  - 「全ユニット」を選択できない設定があります。





お手入れ

こまめなお手入れと早めの点検がエアコンを長持ちさせ、電気代の節約にもなります。

**冷房・ドライ運転後は乾燥運転を行っており、送風ファンが動いています。
お手入れは、乾燥運転を強制終了させ、必ず電源ブレーカーを切ってから行ってください。**

お願い

●アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めます。
●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。
変質したり表面がはがれたりすることがあります。

本体

やわらかい布でからぶきする

●本体の汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼって拭いてください。

リモコン

やわらかい布でからぶきする

●水洗いをしないでください。故障の原因となります。

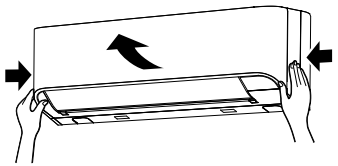
お手入れ（つづき）

冷房・ドライ運転後は乾燥運転を行っており、送風ファンが動いています。
お手入れは、乾燥運転を強制終了させ、必ず電源ブレーカーを切ってから行ってください。

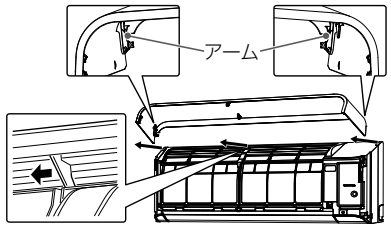
吸込グリル

1 **吸込グリルを引いて、水平になる位置まで引き上げる**

●吸込グリルの左右下側を同時に引いて、上へ開ける。

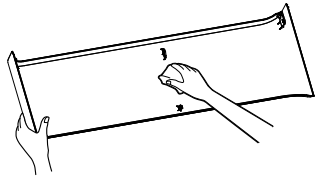


2 **中央のアームを左に押し、右または左のアームを外側に押しながらはずし、吸込グリル全体を手前に引いて取りはずす**

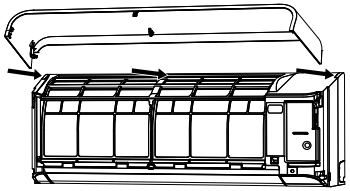


3 **やわらかいスポンジやタオルで水洗いをする（金属たわしなど硬いものは使わない）**

●金属たわしや硬いスポンジなどで吸込グリルをお手入れすると、表面にキズが付き、吸込グリルの塗装がはがれることがあります。
●水洗いのあとは日陰でよく乾かしてください。
●ひどい汚れは台所用中性洗剤で落とし、水ですすいでください。
●吸込グリルの吸込口を強く押さないでください。吸込口が割れるおそれがあります。

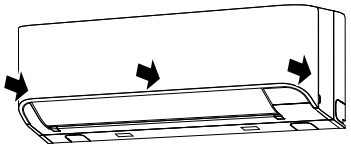


4 **吸込グリルの左右のアームを本体両端の軸の溝に合わせて止まる位置まで押し、中央のアームを押し込む**



5 **中央のアームが入っていることを確認し吸込グリルを閉める**

●吸込グリルの下3ヵ所を押して閉める。



⚠注意

●吸込グリル・エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らない
転倒などけがの原因になることがあります。

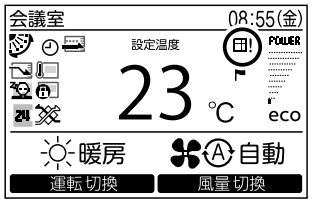
●吸込グリル・エアフィルターを水洗いしたあとは、水気をふき取って陰干しする
水気が残っていると感電の原因になることがあります。

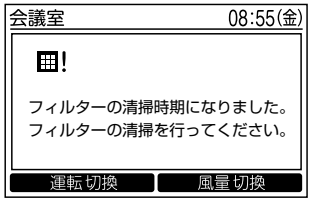
●吸込グリルをはずした状態で、本体の金属部にさわらない
けがの原因になることがあります。

エアフィルター

リモコン画面にフィルターチェックアイコン「▦!」を表示し、フィルター清掃時期をお知らせします。（簡易表示画面では表示しません。）

●エアフィルターの目づまりは冷暖房効果を下げます。
●冷暖房効果が下がっていると感じたらエアフィルターのお手入れをしてください。
●「▦!」が表示されたときは、必ずフィルターの清掃を行ったあとにリモコンのリセットを押してください。
※詳細表示画面への切換は４ページをご覧ください。
●「▦!」が表示されているときにエアコンを運転すると、「フィルターの清掃時期になりました。フィルターの清掃を行ってください。」が表示されます。表示中に操作ボタンを押すか、５秒以上放置すると表示は消えます。

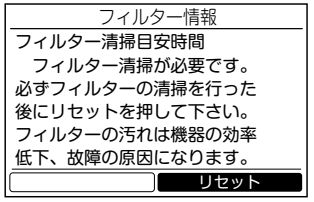




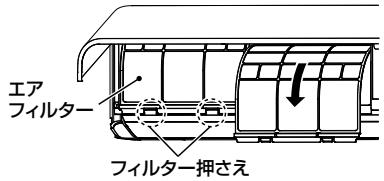
フィルターチェックが表示されているとき（フィルターチェックのリセット）

1 メニュー画面で「7. フィルター情報」を選んで **設定** 『F2』を押す

2 **リセット** 『F2』を押す

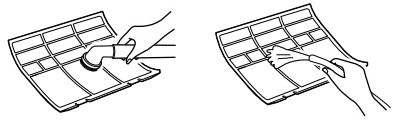


1 **吸込グリルを水平に止まる位置まで開け、エアフィルター中央下部の凸部を少し持ち上げて下に引き出す**



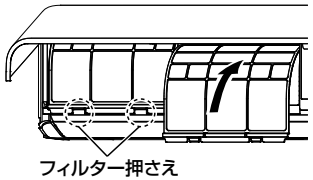
2 **ホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする**

●水洗いしたときはよく乾燥させてください。

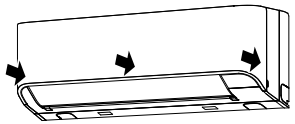


3 **エアフィルターを差し込む**

●本体に差し込んだあと、エアフィルター下部をフィルター押さえにはめ込みます。



4 **吸込グリルを閉める**

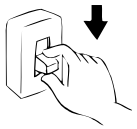


お手入れ（つづき）

長期間使わないとき

1 3～4時間、送風運転をして内部を乾燥させる

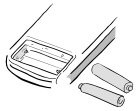
2 リモコンで運転を停止し、電源ブレーカーを「切」にする



3 エアフィルターのお手入れをする

4 ワイヤレスリモコンを使用のときは電池を抜く

●入れたまま放置すると電池の液漏れや放電のおそれがあります。



再び使い始めるとき

1 エアフィルターが汚れていないか、取り付けられているか確認する

2 室内ユニット・室外機のまわりがふさがれていないか確認する

●ふさがれていると性能が低下し、運転できなくなることがあります。

3 ワイヤレスリモコンを使用のときは電池を入れる

4 電源ブレーカーを「入」にする

定期的な点検

●長時間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や使用状態により部品が劣化し、故障したり、除湿水の排水が悪くなることがあります。

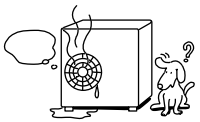
●通常のお手入れとは別にお買い上げの販売店などによる点検整備（有料）をおすすめします。

お願い

● **熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。**
強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、セルフクリーン機能が低下するおそれがあります。
詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

	症　状		原　因
故障ではありません	室外機 	●白い霧状の冷気や水が出る	●自動的に室外機のファンが停止し、除霜を行っているためです。
		●時々“ブシュ”という音がする	●除霜運転開始、および終了時に電磁弁が作動する音です。
		●電源投入時“カタカタカタ”という音がする	●室外機が運転準備している音です。
	室内ユニット	●時々“シュー”という音がする	●運転中や停止直後などに水の流れるような音や、運転開始直後２～３分間運転音が大きくなることがありますが、これは冷媒の流れる音や除湿水の排水音です。
		●“ピシッ”という音がする	●運転中に、エアコンから“ピシッ”という小さな音がすることがあります。これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。
		●吹き出す風が臭う	●壁やじゅうたん・家具・衣類・タバコ・化粧品などの雑多な臭いがエアコンに付着しているためです。
		●運転停止してもファンが回転している	●乾燥運転中は、熱交換器を乾燥させるためにファンが回転しています。（10 ページ参照）
もう一度お調べください	運転しない 		●停電ではありませんか。 ●電源ブレーカーが切れていませんか。 ●保護装置が作動していませんか。（13 ページ参照） （運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅している）
	よく冷えない よく暖まらない 		●室外機の吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ●ドアや窓が開いていませんか。 ●エアフィルターにホコリやゴミがつまっていませんか。 ●水平フラップが適正な位置になっていますか。 ●風量切換が「弱」または運転切換が「送風」になっていませんか。 ●設定温度が適正な温度になっていますか。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから電源ブレーカーを切り、お買い上げの販売店に形名と症状をご連絡ください。また、リモコンの液晶表示部に点検コードが表示されたときは、その内容もご連絡ください。なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

次の症状のときはただちに運転を中止し、電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

- ●スイッチの作動が不確実なとき
- ●電源ブレーカーがたびたび切れるとき
- ●誤って異物や水を入れてしまったとき
- ●13ページの「知っておいていただきたいこと」の保護装置の作動原因を取り除いても運転できないとき
- ●その他、いつもと違う状態のとき

知っておいていただきたいこと

運転前の確認
- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- エアフィルターを付け忘れていないか確認します。
- 運転を開始する 12 時間以上前に電源ブレーカーを入れます。

暖房能力について
- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具と併用してお使いください。

暖房運転中の除霜
- 暖房運転中、室外機に霜が付いた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転（約2～10分間）になります。
- 除霜運転中は、室内ユニット・室外機の送風機は停止します。

3 分間保護について
- 運転を停止してすぐに再開したときや、電源ブレーカーを入れたときには約 3 分間、室外機は運転しません。これは機械を保護するためです。

停電について
- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 運転を再開するときは『運転／停止』ボタンを押しなおしてください。

保護装置について
- エアコンに無理がかかったときに運転を停止します。
- 保護装置が作動すると、運転が停止し、リモコンの運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅します。

保護装置がはたらくとき
- 保護装置が作動し、運転を停止した場合は、電源ブレーカーを切り、点検をしてください。
  原因を取り除かないで運転すると、故障することがあります。
- エアフィルターが取り付けられているか確認してください。
  取り付けられていないと、空気熱交換器などにホコリがつまり、水漏れの原因になることがあります。

冷房運転中
- 室外機の吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外機の吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中
- エアフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- 室内ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。

電源ブレーカーは切らないで
- エアコン使用期間中は、電源ブレーカーを切らず、リモコンの『運転／停止』ボタンで操作してください。

テレビやラジオなどを離して
- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオなどを1ｍ以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。

水平フラップは必ず使い分けて
- 冷房運転のとき下吹き出しの状態で運転すると、吹出口や水平フラップの表面に露が付き滴下することがあります。

エアコンを上手に使っていただくため、次の条件で運転してください

冷房運転 ドライ運転	部屋の温度	21℃以上 32℃以下
	部屋の湿度	80%以下 80%を超えた状態で長時間運転すると機械の表面に露が付き滴下したり、吹出口から露が吹き出すことがあります。
暖房運転	部屋の温度	28℃以下

自動運転時の冷房運転・暖房運転もこの条件によります。
この条件以外で運転すると保護装置がはたらき運転できないことがあります。
- 外気温度は室外機に付属の取扱説明書をご覧ください。

据付について

設置場所について

⚠警告

可燃性ガスが漏れるようなおそれのある場所へ設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。

⚠注意

蒸気が多く発生するような場所、蒸気を発生させる機器近傍に室内ユニットを設置しない

ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。

- 室内ユニット・室外機から出る除湿水は、水はけの良いところへ排水してください。
- 室外機の吸込口・吹出口の近くに障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置くと、運転音増大のもととなります。
- 液化炭酸冷却など化学プラントには使用できません。

次のような場所はさけてください
- 酸性またはアルカリ性雰囲気の場所（温泉地帯・化学薬品工場・すし酢など酸性雰囲気を直接吸い込む場所・燃焼機の排気を吸い込む場所など）…熱交換器（アルミフィン・銅パイプ）などに腐食を起こすおそれがあります。
- 切削油などの機械油の立ち込める雰囲気の場所…熱交換器の腐食・熱交換器目づまりによる霧の発生・フィルター目づまりによる性能低下および結露・プラスチック部品の破損・断熱材のはがれなどを起こすおそれがあります。
- 食用油煙が発生する場所（食用油を使用する厨房、焼肉・お好み焼き店など）…フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損などを起こすおそれがあります。
- 吹き出しの気流を乱す換気口や照明器具などの障害物が近くにある場所（気流の乱れにより、能力低下や機器の停止のおそれがあります。）
- 電源に自家発電装置を使用している場所…電源周波数・電圧が変動しエアコンが正常に動作しないことがあります。
- クレーン車・船舶など移動するもの
- 特殊用途（食品・動植物・精密機器・美術品の保存など）では使用しないこと（保存物の品質などに損害のおそれがあります。）
- 高周波の発生する機器（インバータ機器·自家発電機·医療機器·通信機器）がある場所（エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じるおそれがあります。）
- 据え付けた下に、ぬれては困るものがある場所（湿度 80% 以上のときやドレン口がつまった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じるおそれがあります。）
- 有機溶剤を使用している場所
- ドアまたは窓の近くで高湿度の外気と接するおそれのある場所（結露するおそれがあります。）
- 特殊なスプレーを頻繁に使用する場所
- **金属粉などの粉塵が発生する場所には据え付けないでください。**
  金属粉などがエアコン内部に付着・堆積すると自然発熱することがあり、火災の原因になります。

電気配線について

⚠警告

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

⚠注意

漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取付が必要です。
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

正しい容量の電源ブレーカー以外は使用しない

電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。

移設について
- パッケージエアコンを移設する場合は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。なお、移設の場合は実費をいただきます。

〈フロン排出抑制法による冷媒管理のお願い〉

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- フロン類の種類および GWP（地球温暖化係数）

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R32	675
HFC	R410A	2090

- システム全体でのフロン類に関する種類および数値は、室外機に表示されています。
- エアコンを廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

点検整備について

● ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンお使いになると内部が汚れ、性能が低下することがありますので、10 ～ 12 ページの日常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめいたします。

お願い

● **熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。**
強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、乾燥機能が低下するおそれがあります。詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により簡易点検が義務付けられています。
簡易点検は、3ヵ月に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるかまたは、専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	・機器の異常振動・異常運転 ・機器および機器周辺の油のにじみ ・機器のキズの有無・熱交換器の腐食・錆など
室内ユニット点検	・熱交換器の霜付きの有無

点検は、安全で容易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。
また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたら、これらの点検を行うとともに専門業者へお問い合わせください。
簡易点検に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。
環境省ホームページ：http://www.env.go.jp/

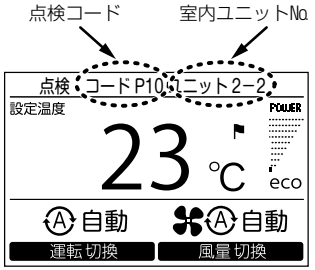
故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが点滅表示されます。

＊点検コードは運転中のみ表示されます。

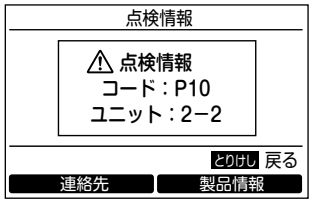
点検コードと室内ユニットNoが表示されているときに『とりけし』を押すと、点検情報画面が表示されます。



点検情報画面で

連絡先 『F1』を押すと、連絡先が表示されます。

製品情報 『F2』を押すと、製品の形名と製造番号が表示されます。



仕様

室内ユニット

形名			AIK-RP403H	AIK-RP453H	AIK-RP503H	AIK-RP563H	AIK-RP633H	AIK-RP713H	AIK-RP803H
種類	機能		冷暖房兼用形						
	ユニット構成		分離形						
	凝縮器の冷却方式		空冷式						
	送風方式		直接吹出形						
騒音	音圧レベル※1	急 (dB(A))	42				43	46	
		強+ (dB(A))	40				41	42	
		強 (dB(A))	39				39	39	
		弱+ (dB(A))	38				38	38	
		弱 (dB(A))	35				35	35	
	音響パワーレベル※2	急 (dB(A))	56				57	60	
		強+ (dB(A))	54				55	56	
		強 (dB(A))	53				53	53	
		弱+ (dB(A))	52				52	52	
		弱 (dB(A))	49				49	49	
総質量 (kg)			13						
外形寸法	高さ (mm)		320						
	幅 (mm)		1050						
	奥行 (mm)		250						

※1 音圧レベル (SPL) は、JIS B 8616 : 2006 に準拠した値です。
※2 音響パワーレベル (PWL) は、JIS B 8616 : 2015 に準拠した値です。

- 製品は改良のため仕様の一部を変えることがあります。
- 室外機と組合わせたときの冷暖房能力・電気特性は、製品に貼り付けてある装置銘板をご覧ください。
- 組合わせ室外機はカタログをご覧ください。
- 地球温暖化係数 (GWP) R32 : 675　R410A : 2090

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

省エネ法に関する表示について
省エネ法に関する表示については、室外機付属の取扱説明書の別紙≪省エネ法に関する表示≫をご覧ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター　お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえおかけ間違いのないようにお願いします。

フリーダイヤル **0120-1048-00**（トウシバ）

受付時間：365日　9:00～20:00

携帯電話・PHSなど　**03-5326-5038（通話料：有料）**

FAX　045-461-3493（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（室外機に付属）

●この東芝パッケージエアコンの保証期間は、室外機に付属の保証書をご確認ください。
●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

●パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後９年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。
「点検記録簿」には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。
費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問い合わせください。
「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。
日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：http://www.jarac.or.jp/

修理を依頼されるときは　（出張修理になります）

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。
修理に際して冷媒を回収するときは、フロン排出抑制法の規程に従ってください。

■保証期間中は

修理に関しては室外機に付属の保証書をご覧ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技　術　料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部　品　代	修理に使用した部品代金です。
出　張　料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品　　名	パッケージエアコン	
形　　名		
お買い上げ日	年　　月　　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。	
お　名　前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名	
電　話　番　号	電話　（　　）

東芝キヤリア株式会社
〒416-8521　静岡県富士市蓼原 336 番地

SN:1125450201